

12 研修・実習実績

(1) 研修実績

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

期 日	研 修 対 象 者		研修 人員	備考
	所 属	科 ・ 学 年 等		
R4.11.1～R4.11.8	都立大塚病院	初期研修医	16	医科1、2年次、 歯科2年次
R5.2.17	福祉保健局医療政策部	公衆衛生行政に携わる課長代理級医師	8	課長代理級医師、 歯科医師

※養成施設等別研修者内訳

施設分類	研修人数	回数
医 学 部 関 係		
警察・消防・その他	24	3

(2) 監察医等実習実績

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

期 間	延日数	所属(大学・医療機関等)	人数
R4.4.1 ~ R5.3.31	16	下総精神医療センター精神科	1
R4.4.1 ~ R5.3.31	9	東京慈恵会医科大学法医学講座	1
R4.4.1 ~ R5.3.31	15	東京医科大学法医学分野	1
R4.4.1 ~ R5.3.31	16	帝京大学医学部医学法医学講座	1
R4.4.1 ~ R5.3.31	16	東海大学医学部基盤診療学系法医学	1
R4.4.1 ~ R5.3.31	18	横浜市立大学医学研究科博士課程法医学	1
R4.4.1 ~ R5.3.31	21	東京慈恵会医科大学法医学講座	1
R4.4.1 ~ R5.3.31	4	昭和大学医学部臨床病理診断学講座	1
R4.6.24 ~ R5.3.31	8	海老名総合病院病理診断科	1
R4.8.27 ~ R5.3.31	5	筑波大学大学院人間総合科学学術院	1
R4.12.13 ~ R5.3.31	12	京都大学大学院医学研究科法医学講座	1
R4.4.1 ~ R5.3.31	3	順天堂大学医学部 6年	2
R4.4.1 ~ R4.5.7	6	日本大学医学部法医学医学科5年	2
R4.4.12 ~ R5.3.31	3	東邦大学医学部医学科 6年	1
R4.4.18 ~ R5.3.31	2	東京医科歯科大学医学部医学科5年	1
R4.5.1 ~ R5.3.31	5	北里大学医学部医学科 6年	1
R4.5.1 ~ R5.3.31	5	東邦大学医学部医学科 6年	3
R4.5.15 ~ R5.3.31	4	横浜市立大学医学部医学科 4年	2
R4.5.23 ~ R5.3.31	5	群馬大学医学部医学科 5年	1
R4.6.2 ~ R5.3.31	7	順天堂大学医学部 3年	2
R4.7.11 ~ R4.7.21	5	自治医科大学医学部 6年	1
R4.7.23 ~ R4.7.27	3	群馬大学医学部医学科 5年	1
R4.8.22 ~ R4.8.26	5	都立墨東病院	1
R4.8.29 ~ R4.9.2	5	都立墨東病院	1
R4.9.5 ~ R4.9.9	5	都立広尾病院	1
R4.9.11 ~ R5.3.31	15	東京慈恵会医科大学附属柏病院	2
R4.9.12 ~ R4.9.16	5	都立多摩総合医療センター	1
R4.9.19 ~ R4.9.23	3	群馬大学医学部医学科 5年	1
R4.11.1 ~ R5.3.31	1	琉球大学大学院医学部医学科 4年	1
R5.2.16	1	介護老人保健施設逍遙の郷	1
R5.2.27 ~ R5.3.1	3	群馬大学医学部医学科 4年	1
R5.2.14 ~ R5.3.14	2	松戸市消防局	1
R5.3.1	1	東京医科歯科大学部医歯学総合研究科 博士課程2年次	1
R5.3.14	1	白石整形外科医院	1
R5.3.27	1	島田市立総合医療センター	1
合 計	236		42

(3) 検視官研修

警察大学校法医専門研究学生（警視庁及び各都道府県警察において検視業務に従事する技官・警視・警部）の法医学（検案・解剖）の実務研修受け入れ

実績無し

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(4) 検視実務専科研修

関東管区警察学校検視実務専科学生（都道府県警察本部において、検視官の補助として勤務している者及び将来補助者になる予定の者並びに警察署において検視業務に携わる警部補、巡查部長）の法医学（検案）の実務研修受け入れ

実績無し

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

13 令和4年（2022年）研究業績

(1) 論文・著書

発表者	題名	誌名・年・巻(号)・頁
A. I. Takahashi S, Takada A, Saito K, Hara M, Yoneyama K, Nakanishi H.	Diagnostic significance of the histopathology of bone marrow macrophages in forensic autopsies.	Leg Med (Tokyo). 2022; 58: 102079.
林紀乃	東京都監察医務院の取り組みと死因究明体制の在り方.	公衆衛生. 2022; 86: 916-925.

(2) 学会発表等

発表者	題名	学会名等(開催地)・開催年月日等
酒井健太郎, 林紀乃.	神経線維腫症 2 型に関連した若年者入浴中急死の一剖検例.	第 106 次日本法医学会学術全国集会. 2022 年 6 月. 愛知.
引地 和歌子、谷藤 隆信	東京都 23 区内における自殺手段にガスを用いた事例の経時的傾向 - コロナ禍において -.	2022 年度アルコール・薬物依存関連学術集会. 2022 年 9 月. オンライン発表.
菊地洋介, 林紀乃, 濱松晶彦, 朝倉久美子, 木村聡子, 氣賀澤秀明, 高田綾, 齋藤一之.	臨床未診断の梅毒性大動脈炎の 2 剖検例.	第 111 回日本病理学会総会. 2022 年 5 月. 神戸.
児玉早, 畑純一, 岩楯公晴, 金涌佳雅, 岡野ジェイムス洋尚.	超高磁場 9.4T MRI を用いて固定脊髄における長軸路描出を試みた 3 例.	第106 次日本法医学会学術全国集会. 2022 年6月. 愛知.
村松尚範, 鈴木秀人	COVID-19 流行前後での東京 23 区内における死因統計の解析.	第106 次日本法医学会学術全国集会. 2022 年6月. 愛知.
児玉早, 浦邊朱鞠, 伊藤和穂, 氣賀澤秀明, 齋藤一之, 高田綾.	後頭部の打撲による脳幹損傷が疑われた一剖検例.	第23回日本法医学会学術北日本集会. 2022年10月. 北海道.
(以下, 教育活動)		
林紀乃	監察医制度	北里大学医学部法医学講義. 2022 年 5 月. 神奈川.
林紀乃	法医学と病理学	日本大学医学部病理学講義. 2022 年 10 月. 東京.
林紀乃	検視・検案	令和 4 年度東京 JMAT 研修会. 2022. 10 月, 12 月. 東京.
林紀乃	「死について」	東京消防庁講義. 2022. 11 月. 東京.
林紀乃	東京都監察医務院における死因究明業務について	死因究明制度の在り方を考える会. 2022. 11 月. 東京.

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
酒井健太郎	死体現象と死後経過時間，児童虐待・嬰兒殺.	令和4年度関東管区警察学校全国規模専科. 2022年7月，11月．東京．
引地和歌子	法医学（死因究明制度）－監察医は語る．	星薬科大学講義．2022年オンライン．東京．
引地和歌子	基礎解剖学，内因性急死．	令和4年度関東管区警察学校全国規模専科. 2022年7月，11月．東京．
氣賀澤秀明	交通法医学．	令和4年度警察大学校（法医専門）研修．2022年6月，10月，12月．東京．
村松尚範	異状死が発生した時の対応について ～監察医の立場から～.	豊川市民病院医療安全講演．2022年11月．愛知．
菊地洋介	東京都監察医務院の紹介.	東京大学医学部 第4学年法医学講義. 2022年5月．東京．
菊地洋介	死後画像診断—その有用性および限界—	北里大学医学部 第4学年法医学講義．2022年5月．神奈川．
菊地洋介	死後画像診断—その有用性および限界—.	慶應義塾大学医学部 第5学年法医学講義. 2022年8月．東京．